

未来へつながる通信 vol.182

発行：令和7年9月1日 袋井市教育委員会

8/4 架け橋期の教育推進会議を開催



聖隷クリストファー大学 渡邊先生講話を受けて
2学期の教育・保育の重点を考える



「小1プロブレム」これは、子どもが幼稚園やこども園、保育園から小学校に入学する際に、様々な環境の変化に適応が困難な状態を表します。袋井市では、この問題を解消・改善するために令和4年度から3年間、5歳児から小学1年生の2年間を示す「架け橋期」に重点を置き、幼児期からの円滑な接続をするためのカリキュラムを作成したり、園と小学校の教職員が研修会等を通じて交流したりしました。

架け橋期の取組が子どもや教職員にとってさらに充実したものにするため、今年度は4回「架け橋期の教育推進会議」を実施する予定です。今回は、聖隷クリストファー大学渡邊拓真先生の講話を聞きました。また、講話をもとに1学期の児童の様子や2学期の教育・保育の重点について協議しました。

現在のページ ホーム > 組織から探す > 教育企画課 > 未来の教育推進室

未来の教育推進室

★ホームページの紹介

架け橋期に関することは、「未来の教育推進室」のホームページより御覧になれます

袋井市が進める幼小中一貫教育

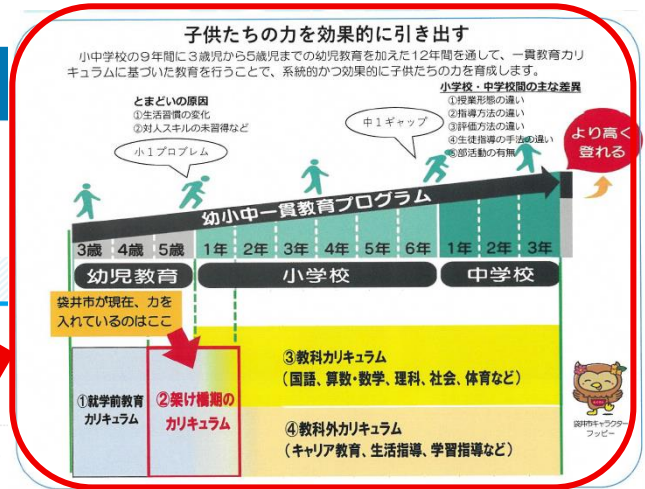
袋井市では小中学校の9年間に3歳児から5歳児までの幼児教育を加えた12年間を通して、一貫教育カリキュラムに基づいた教育を行うことで、「令和の日本型学校教育」の姿が実現することを目指し、系統的・効果的に子供たちの力を育成します。

未来へつながる通信

袋井市が進める幼小中一貫教育

各学園（公立の幼稚園、こども園、小学校、中学校）を紹介します

幼小中一貫教育の成果と課題をふまえた今後の方向性



「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などをお知らせするために発行しています。

